

ロータンクゴムフロート (LIXIL・INAX用)

施工説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工前に、下記注意事項をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

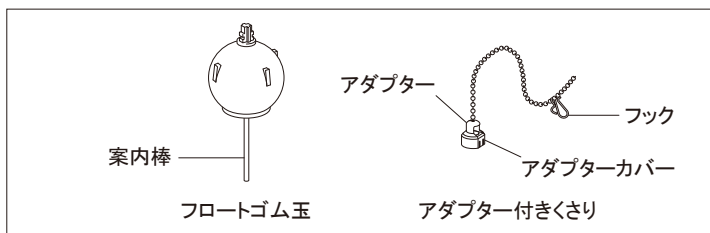
注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

必ず実行していただく「強制」を示します。

気をつけていただきたい「注意」を示します。

製品同梱明細・各部のなまえ

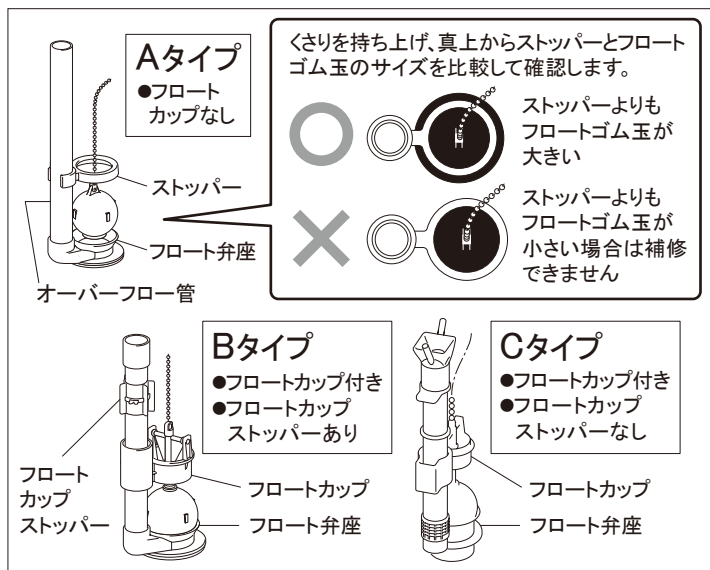


*上記部材に加えて、施工説明書を同梱しています。

施工の前に

施工条件

本品は大玉(玉径65ミリ)の補修用のロータンクゴムフロートです。
*小玉(玉径55ミリ)の補修には使用できません。
また、使用中のロータンク排水弁のタイプによって、一部施工方法が異なります。



施工の前に(つづき)

フロートゴム玉を組立てます。

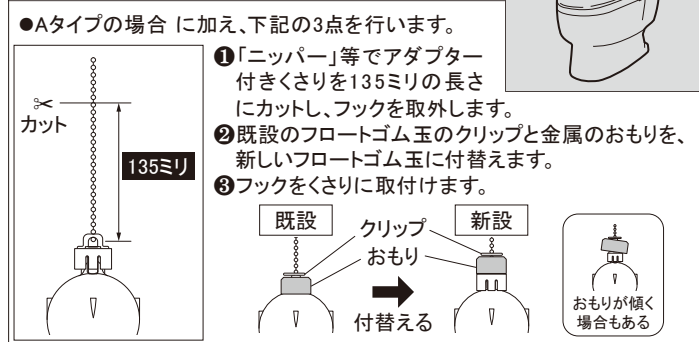
ロータンク排水弁のタイプに合わせて、該当する項目の作業を行います。

●Aタイプの場合



- ①新しいフロートゴム玉に、くさりのアダプターを取付けます。
 - ②アダプターのカバーを差込みます。
- *ツメがかみ合うように確実に取付け、くさがりを外れないことをご確認ください。

ワンピース便器の場合 (便器品番:NC-99P等)



●B・Cタイプの場合

アダプター付きくさはりを使用しません。フロートゴム玉のみを使用します。

施工方法

止水栓または元栓を閉じて作業を行ってください。

ロータンク排水弁のタイプに合わせて、該当する項目の作業を行います。

1. 古いフロートゴム玉を取外します。

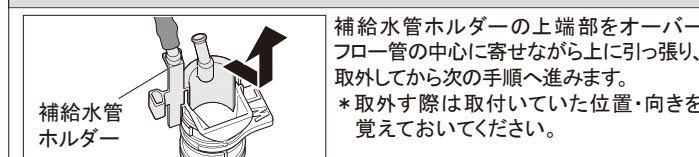
必ず実行 ロータンクのふたは重量があります。落下等に十分注意して作業を行ってください。

- ①タンクのハンドルをまわし、タンク内の水を抜きます。
- ②タンクのふたを取外し、安定した場所に置きます。

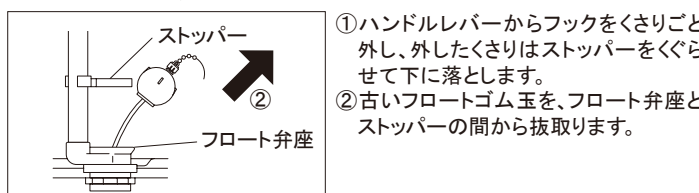
注意

- 古いフロートゴム玉を触ると、手が汚れることがありますので、ゴム手袋等を着用してください。
- 古いフロートゴム玉を抜取る際は固着等により、きつくなっている場合があります。抜取る際はご注意ください。
- オーバーフロー管に強い力を加えないようご注意ください。オーバーフロー管が折れる等の破損の原因となります。

オーバーフロー管の先端に補給水管ホルダーが取付けられている場合



●Aタイプの場合



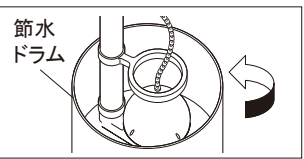
- ①ハンドルレバーからフックをくさりごと外し、外したくさはりはストッパーをくぐらせて下に落とします。
- ②古いフロートゴム玉を、フロート弁座とストッパーの間から抜取ります。

裏面へ続く➡

施工方法(つづき)

1. 古いフロートゴム玉を取外します。(つづき)

節水ドラム付きの場合

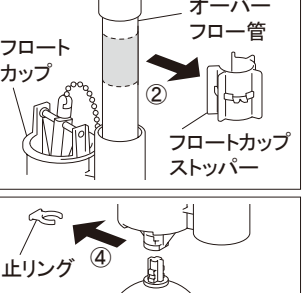


① 節水ドラム上部のフチを両手で持ちます。反時計まわりに1cmほどまわして、フロート弁座のツメから外します。
*フロート弁座との固定方法がねじ式の場合は、反時計回りにまわして取外します。

② 節水ドラムを上方向に抜取ります。*固着している場合があります。

③ 古いフロートゴム玉を、フロート弁座とストッパーの間から抜取ります。

●Bタイプの場合



① ハンドルレバーからフックをくさりごと取外します。
*フックからくさりを外さないでください。洗浄不良の原因となります。

② フロートカップストッパーをオーバーフロー管から取外します。

③ フロートカップとフロートゴム玉をオーバーフロー管から取外します。

④ 止リングを外して、フロートゴム玉をフロートカップから取外します。
*止リングはなくなないようにご注意ください。

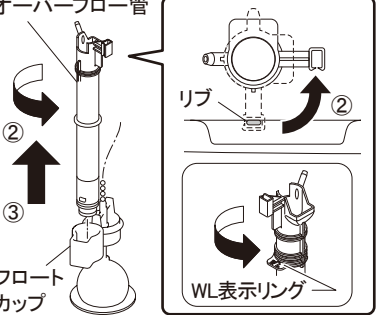
●Cタイプの場合

① ハンドルレバーからフックをくさりごと取外します。
*フックからくさりを外さないでください。洗浄不良の原因となります。

② オーバーフロー管の各固定箇所を外します。(下図参照)

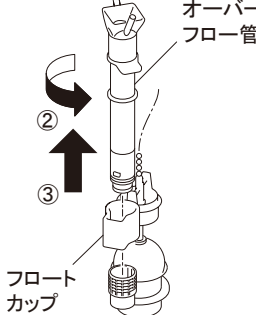
③ オーバーフロー管をまっすぐ引上げて取外します。
*オーバーフロー管に強い力を加えないようご注意ください。オーバーフロー管が折れる等の破損の原因となります。

オーバーフロー管の上部分で固定されている場合はリブ部分を外します。



④ フロートカップを取り出し、Bタイプと同様に止リングを外してフロートゴム玉をフロートカップから取外します。

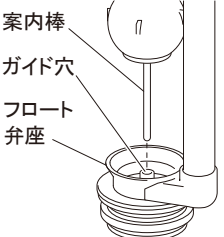
オーバーフロー管の根元で固定されている場合は矢印の方向に回します。



2. 新しいフロートゴム玉を取付けます。

注意

- フロートゴム玉を傷つけないようにしてください。止水不良の原因となります。
- フロートゴム玉の案内棒はフロート弁座のガイド穴に確実に差込んでください。止水不良の原因となります。
- フロート弁座が水アカ等で汚れている場合は、柔らかい布等で拭き取ってください。
- オーバーフロー管に強い力を加えないようご注意ください。オーバーフロー管が折れる等の破損の原因となります。



●Aタイプの場合

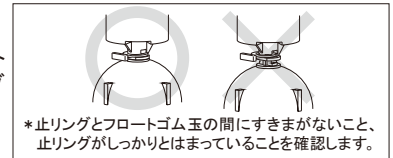
- ① 新しいフロートゴム玉を、フロート弁座とストッパーの間から差込みます。
*案内棒はフロート弁座のガイド穴に確実に差込みます。
*節水ドラムを取外した場合はフロートゴム玉の取付け後に、「1. 古いフロートゴム玉を取外します。節水ドラム付きの場合」の逆の手順で、節水ドラムを取付けます。

施工方法(つづき)

2. 新しいフロートゴム玉を取付けます。(つづき)

●Bタイプの場合

- ① 新しいフロートゴム玉をフロートカップに奥まで差込み、止リングで確実に固定します。



- ② 「1. 古いフロートゴム玉を取外します。●Bタイプの場合」の逆の手順でフロートカップをオーバーフロー管に通して、フロートゴム玉をフロート弁座に差込みます。
*案内棒はフロート弁座のガイド穴に確実に差込みます。
- ③ フロートカップストッパーをオーバーフロー管に取付けます。
*ストッパーは正しい位置に取付けてください。洗浄不良の原因となります。

●Cタイプの場合

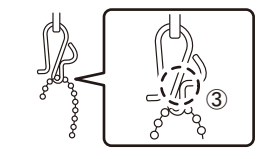
- ① 「●Bタイプの場合」と同様に新しいフロートゴム玉をフロートカップに奥まで差込み、止リングで確実に固定します。
*止リングとフロートゴム玉の間にすきまがないこと、止リングがしっかりとハマっていることを確認します。
- ② フロートゴム玉をフロート弁座に差込みます。
*このとき、フロートカップの位置をオーバーフロー管を差込むことができる位置に調節して差込みます。
- *案内棒はフロート弁座のガイド穴に確実に差込みます。
- ③ 「1. 古いフロートゴム玉を取外します。●Cタイプの場合」の各項目の逆の手順でオーバーフロー管を固定します。

3. フックをハンドルレバーに取付けます。

注意

- くさりの長さは調節してください。止水不良の原因となります。
- フックはくさりから抜けないことをご確認ください。止水不良または洗浄不良の原因となります。

●Aタイプの場合



① 新しいフロートゴム玉のフックをハンドルレバーに取付けます。

② くさがりが張った状態から2~3球たるませた状態になるように、くさりの長さを調節します。

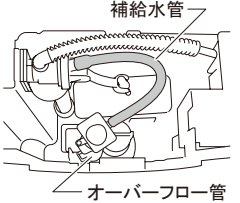
③ くさりを取付けた後、左図の印部分にすきまがなく、くさがりが抜けないことを確認します。

●B・Cタイプの場合

- ① フックをくさりごとハンドルレバーに取付けます。
- ② 「●Aタイプの場合」と同様にくさがりが抜けないことを確認します。

注意

- 補給水管または補給水管ホルダーを取外した場合は、必ず元の位置に戻してください。洗浄不良の原因となります。
- 補給水管は、オーバーフロー管の正面側の管に差込まないでください。漏水の原因となります。



施工後の確認

必ず実行

ロータンのふたは重量があります。落下等に十分注意して作業を行ってください。

- ① ロータンのふたを戻し、止水栓または元栓を開きます。
- ② タンクに水を溜めた状態でハンドルを大・小ともに2~3度操作し、漏水がないか、正常に作動するかを確認します。
- * 手洗管からの吐水量の調節は、止水栓で行ってください。